

メディアとリスクコミュニケーション

平成16年度感染症危機管理研修会

平成16年9月16日

国立感染症研究所感染症情報センター

岡部信彦

O157, BSE, エボラ出血熱、麻疹、インフルエンザ、インフルエンザ脳症、手足口病脳炎、ウエストナイル……

メディアは正しく伝えてくれない！

メディアは正しく伝えてくれない！

では、正しく伝えてもらう努力はしているだろうか？

メディアは正しく伝えてくれない！

では、正しく伝えてもらう努力はしているだろうか？

すぐに理解してくれない
時間がない
日常の仕事が妨げられる

仕事ではない

- **医学的(科学的)裏付けは重要！**
- **論文は書くべき、しかし10の論文を医学雑誌に書いても多くの人に理解はされない**
- **時間もかかる**
- **数分の報道、数行の見出しにかなわない**

- 医学的(科学的)裏付けは重要！
- 10の論文を医学雑誌に書いても多くの人に理解はされない
- 時間もかかる

- **数分の報道、数行の見出しにかなわない**

**多くの人に感染症を理解してもらわないことには
よりよい対策に結びつかない**

料理をするのはメディアの役割、責任

**しかしよい素材を提供する役割、責任は
我々ではないだろうか？**

では、正しく伝えてもらう努力をしよう。

誰が？

責任は？

SARSの際に

- 問い合わせ殺到！！
- 現在情報センターとしてキャッチしている正しいと考えられることを、なるべく正確に、早く知ってもらう
- 各社バラバラの求めに応ずることは出来ない
- 時間的な制約はある（情報収集、まとめ、対策案提出、会議、日常のこと……）

感染症情報センターメディア対応

- 情報センター長が一括して行う(齟齬をさける、スタッフには他のことをやってもらう)
- ただし得意分野をそれぞれ振り分けることあり
- ニュース提供というより解説、背景説明、いわゆる記者レクの補足
- 感染研としての記者発表ではない
- 誰でも参加可能
- 所内で行う、そして取材として認め、取材届けを出してもらう
- 週に1回は開催

感染症情報センターメディア対応

- 情報センター長が一括して行う(齟齬をさける、スタッフには他のことをやってもらう)
- ただし得意分野をそれぞれ振り分けることあり
- ニュース提供というより解説、背景説明、いわゆる記者レクの補足
- 感染研としての記者発表ではない
- 誰でも参加可能
- 所内で行う、そして取材として認め、取材届けを出してもらう

- **週に1回は開催**

その後月1 - 2回の勉強会として継続
鳥インフルエンザで有効に活用

Risk Communication ?